



日立一高ラグビー部OB会 会報

<https://ichiko-rugby-obc.com/>
(フェイスブックグループ「日立一高ラグビー部」も開設)

【令和2～3年度前半を振り返って】

○ コロナ禍にも負けず、県内5大会連続決勝戦進出！！

全国大会予選関東ブロック大会に進出、惜しくも専大松戸高に敗れ、全国大会出場ならず
2大会連続30回目の関東大会出場を果たし、27年ぶりに関東大会で勝利を収める！！

令和2年度全国大会茨城県予選



10月25日(日)	【準々決勝】	vs. 常総学院	49-19	(前半 27-7 後半 22-12)
11月1日(日)	【準決勝】	vs. 勝田工業	17-14	(前半 12-7 後半 5-7)
11月7日(土)	【決勝】	vs. 茗溪学園	0-88	(前半 0-47 後半 0-41)

【関東ブロック大会】

11月21日(土) vs. 専大松戸 0-29 (前半 0-17 後半 0-12) 於: 熊谷ラグビー場

第100回全国高校ラグビーフットボール大会茨城県予選は、一部の保護者を除いて無観客で開催されました。

コロナ禍で関東大会が予選・本戦とも中止、7人制全国大会県予選も中止になったことにより、関東新人大会以来、約8か月ぶりの公式戦となりました。(前大会と同様に第2シードとなり、準々決勝からの出場)

準々決勝は常総学院との対戦です。常総学院は100kg超が2人、100kg弱が2人と大型FWを有するチームでしたが、これに屈することなくスピード感のある展開で49-19と圧倒し、2年連続の準決勝進出を決定！！

準決勝は、清真学園を48-19で破り意気上がる勝田工業との対戦です。勢いはあるものの、やや単調な勝田工業の攻撃を、FWの踏ん張りなどでこらえ、17-14(トライ数3-2)のロースコアの激戦を、運動量と固いディフェンスで勝ち切り、2年連続の全国大会県予選決勝進出を果たしました。

決勝戦は、水戸ケーズデンキスタジアムで茗溪学園との対戦、部員たちは前に出る勇気あるディフェンスで最後まで健闘しましたが、相手のプレッシャーや緊張などから肝心なところでミスが出てしまい、チャンスはあったものの得点できず0-88と敗れ、一矢を報いることはできませんでした。

例年だとここでシーズン終了ですが、今回は全国大会が第100回の記念大会ということから、各県予選の優勝チームのほか、全国9ブロックで2位チームのトーナメント戦が行われ、勝ち抜いたチームには全国大会出場権が与えられることになりました。

本校は、千葉県2位の専大松戸高校に0-29で敗れ、全国大会出場の夢は叶いませんでしたが、現地からの情報では、快晴ながら風が強く、特に後半は敵陣から一気に風で押し戻されるなど、日立一高には不利に影響したようです。力の差が大きいとは思えませんが、相手のディフェンスが堅固だったことと、ほんの少しのミスからの失点や、得点機をハンドリングミスやターンオーバー等で逸したことが敗因となったとのことでした。

(この大会は、完全無観客で行われたため、掲載できる写真はありません。)

新人戦 ※2回戦以降中止

令和2年度茨城県高校ラグビー新人大会は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、16日(土)2回戦以降の大会が中止となりました。

県南地区での高校バスケットボールチームにおけるクラスター発生や新人大会での他校への感染、更には全県的な感染拡大等の現状から判断が下されました。(バスケットボール、サッカー、剣道などの他競技でも新人戦は中止)

当時、全国11都府県に緊急事態宣言が発出され、本県においても独自の緊急事態宣言により18日(月)~2月7日(日)まで全県の飲食店の時短や外出自粛が求められており、やむを得ない判断と思われます。

関東新人大会 ※中止

各都県における新人大会の中止に伴い、関東新人大会も中止となりました。

関東大会県予選 ※無観客開催

5月 2日(日) 【準々決勝】	vs. 合同C 91-0 (前半 41-0 後半 50-0)
	※土浦工、土浦一、取手一、つくば国際、春風、守谷
5月 8日(土) 【準決勝】	vs. 合同B 14-21 (前半 14-14 後半 0-7)
	※水戸一、勝田、水城
5月16日(日) 【3位決定戦】	vs. つくば秀英 41-7 (前半 14-7 後半 27-0)

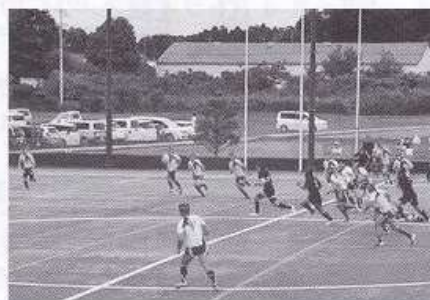
新人戦が中止となったので、部員たちにとっては、新チームでの初の公式戦となりました。

第1戦の準々決勝は、合同Cに91-0で順当勝ち(この大会も無観客につきOBは観戦不可、保護者も代表3人のみにつき、準々決勝・準決勝は写真なしです。)

準決勝では、大きな落とし穴が待っていました。合同Bに14-21で敗戦、合同Bは準々決勝で勝田工を35-12で破っており、早くて強いランナーがいるなど侮れない相手だとは思っていましたが、まさかの敗戦でした。

レフリーとのコミュニケーションがうまくとれず、FWが圧倒しながらも、リモールでのオプストラクションやノットリリースなどの反則を連発し、シンピンなどもあり攻めきれなかったようです。また、動画を観たOBの感想では、合同Bのディフェンスも素晴らしかったとのこと。なお、県内公式戦で合同チームが決勝進出したのは初のケースと思われます。(決勝では0-103で茗溪に敗れています。)

3位決定戦では、41-7でつくば秀英を破り、2大会連続30回目の関東大会出場に花を添えました。先週の敗戦を、部員たちがどのように捉え、どのように修正してくるのか興味深いところでしたが、どうやらプラスの方向にベクトルを修正することができ、特に後半は自分たちの強みを生かした攻撃ができたようです。



関東大会本大会 ※無観客開催

令和3年6月5日（土）6日（日）に千葉県成田市で開催された第69回関東高校ラグビー大会（無観客開催）

日立一高は初日の早稲田実業（東京）には5-60（前半0-27、後半5-33）で敗れましたが、2日目の東京学館浦安（千葉）には26-7（前半12-0、後半14-7）で勝利しました。

※FWで圧倒しての勝利だったとの連絡が入っています。

振り返ると、関東大会での勝利は平成6年、湘南工科大附属に22-6で勝って以来、27年ぶりとなりました。...長い長いトンネルでした。

選手、監督ほか関係者の皆さん、そして大会を運営された地元千葉県の皆さん、コロナ禍の中での大会運営は、参加する側も受入れる側も、大変なご苦労があったことと思います。大変お疲れさまでした。

**全国7人制大会県予選**

令和3年6月18日（金）19日（土）に堀原運動公園で全国高校ラグビー7人制大会の茨城県予選が行われ、日立一高は令和元年度と同じく、茗溪学園には敗れましたが一昨年に続いて3位入賞を果たしました。（令和2年度はコロナ禍のため中止）

1日目は太田一高と牛久高校を破って準決勝進出を決め、2日目はあいにくの雨の中、茗溪学園には0-38と敗れましたが、3位決定戦では勝田工業を15-0で破り、チームのプライドを感じさせる試合となりました。

鈴木監督の談話「関東大会終了後で、主力に怪我人も多し中、最低限の成績は残せました。3位決定戦が今大会のベストゲームです。試合を重ねるごとに良くなっていきました。また、1から精進したいと思います。」



【大会結果】	1日目	1回戦	vs. 太田一高	40-5	2回戦	vs. 牛久高校	14-12
	2日目	準決勝	vs. 茗溪学園	0-38	3位決定戦	vs. 勝田工業	15-0
	(参考)	準決勝	水戸農業	7-5	決勝	茗溪学園	40-0
			勝田工業			水戸農業	

○ 令和3年度の夏合宿は中止

今年の夏合宿は、宮城蔵王（宮城蔵王スポーツクラブ・蔵王フットボールグラウンド）で8月7日（土）～8月10日（火）の3泊4日で予定されていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、茨城県の対策がステージ3に引き上げられ、県立学校の部活動のコロナ対策が強化（練習試合等を行うときは、自校を含め2チーム以内など）されたため、中止となりました。

OB隊も、尾又顧問・黒沢会長をはじめ例年のように参加し、激励・指導を行う予定で宿も確保しましたが、あえなくキャンセルとなりました。

○ 夏休み中の部活動も休止

茨城県知事が8月6日（金）から19日（木）県独自の「緊急事態宣言」を発令したことにより（その後、県独自の「非常事態宣言」に移行、国も「緊急事態宣言」を発令し、それが9月末まで延長）まず他校との練習試合が禁止され、OBの練習参加も禁止、その後、学校は休校（リモート）、部活動は休止となりました。

※9月16日（木）に県知事が記者会見し、9月20日（月）から県立高校は分散登校を開始し、部活動も平日2時間を原則として再開。10月1日（金）からは普通登校で、部活動も通常どおりの予定です。

○ 令和3年度も「学年幹事会」はオンラインによる役員会で代替

例年、7月上旬にOB会の学年幹事会（総会に代わる審議・議決機関）を開催していますが、今年も昨年に続いて新型コロナウイルスの感染防止に配慮して開催を自粛、代わりに8月28日（土）午後6時からオンライン（Zoom）による臨時役員会を開催しました。

議案は、令和2年度の事業報告と決算報告、令和3年度の事業計画（案）と予算（案）、さらに役員改選年ではありませんが、若手OBの参加促進等を図るため、新たに若手OB2人を幹事として追加選任する（案）を提出し、すべて原案どおり承認されました。

オンライン役員会は、昨年夏と今年の正月にも開催しており、今回が3回目となることもあって概ね円滑に進めることができましたが、機器の不調で途中離脱せざるを得ない参加者もあり、今後の課題となりました。

今回もアカウントの使用やZoom会議の運営全般にお世話になった益子副会長をはじめ、参加者の皆様には事前準備（アプリのダウンロードなど）を含めて大変お世話になりました。ご協力ありがとうございました。



1. 令和2年度活動及び決算報告

(単位：千円)

	予算	決算	比較	内 容
1) 学年幹事会	0	0	0	中止（代替でオンライン役員会開催）
2) OB会報発行	170	170	0	10月に第23号を発行
3) 各大会への資金援助	190	95	-95	全国予選（プログラム協賛金を含む） 〃 関東ブロック大会
4) 菅平遠征への資金援助	0	50	+50	遠征先を磐梯熱海に変更して実施
5) 菅平へのOB派遣補助	0	30	+30	ガソリン代補助・現地差入を含む。
6) ミニ合宿への資金援助	50	27	-23	テピングテープ一式寄贈に変更
7) ゴルフコンペの開催	10	10	0	開催通知発送
8) 蹴初め等の交流親睦行事	70	0	-70	コロナ禍のためすべて中止
9) 慶弔費	10	0	-10	OB関係の葬儀等なし
10) 事務費	30	45	+15	郵送・コピー代、振込手数料等
11) 高校生活動費支援	150	150	0	
12) 附属中活動費支援	150	138	-12	10万円+練習用ジャージ6着
13) スクラムマシン寄贈	200	238	+38	作成+塗装
14) 応援・勧誘グッズ等作成	50	0	-50	
15) 軽自動車購入費助成	0	40	+40	グラント整備用、サッカー部・野球部と折半
16) 夏合宿宿舎への義援金	0	100	+100	菅平「向井館」コロナ禍の苦境を支援
17) その他	20	237	+217	卒業記念品（初対×100本）購入
計	1,100	1,330	+230	

2. 令和2年度 主な収入の状況

(単位：円)

	年会費（納入者）		広告料（納入者）		計
	金額	納入者	金額	納入者	
令和2年度予算	770,000	135人	230,000	14件	1,000,000
〃 決算	457,000	85人	198,000	13件	(前年比 65.5%) 655,000

※上記のほか、父母会から次期周年事業協力金として28千円を受領

※令和2年度は、正月の蹴り初めや夏の学年幹事会などOB会行事が開催できなかったことから、年会費をいただく機会が少なく、年会費収入が対前年比「-40%」となっています。OB会の運営健全化と現役部員への継続的な支援を図るため、年会費の積極的な納入にご協力ください。

振込先：常陽銀行 日立支店 普通預金 No.6827091

口座名：日立一高ラグビー部OB会 会長 黒沢祐士

3. 令和3年度 事業計画及び予算（案）

(単位：千円)

	R2決算	R3予算	内 容
1) 学年幹事会	0	0	中止（代替でオンライン役員会開催）
2) OB会報発行	170	170	10月に第24号を発行予定
3) 各大会への資金援助	95	195	30,000×6大会、プログラム協賛金
4) 夏合宿への資金援助	50	0	夏合宿中止
5) 夏合宿へのOB派遣補助	30	0	〃
6) 全国予選激励会相当の補助	27	50	R2. はてしなくテブ一式を寄贈
7) ゴルフコンペの開催	10	10	開催通知等
8) 蹴初め等の交流親睦行事	0	70	蹴初め、新年会、交流試合等
9) 慶弔費	0	10	OB・関係者葬儀香典等
10) 事務費	45	50	郵送・コピー代・振込手数料等
11) 高校生活動費支援	150	150	活動費等補助
12) 附属中活動費支援	138	150	〃（練習用ジャージを含む）
13) (スクラムマシン寄贈)	238	0	
14) 応援・勧誘グッズ等作成	0	50	チラシ等作成
15) (軽自動車購入費助成)	40	0	
16) (夏合宿宿舎への義援金)	100	0	
17) 予備費	237	20	
計	1,330	925	前年度決算比 -405千円

4. 令和3年度 収入見込

(単位：円)

	年会費（納入者）		広告料（納入者）		計
	金額	納入者	金額	納入者	
令和元年度決算	746,000	127人	216,000	13件	962,000
令和2年度決算	457,000	85人	198,000	13件	655,000
令和3年度予算	715,000	120人	210,000	14件	(前年比 141%) 925,000

※令和元年度並みの年会費納入を図る。

【報告】「令和3年度関東大会出場緊急カンパ」の結果及び用途について

令和3年6月5日(土)・6日(日)、2年ぶりに開催された関東ラグビー大会に日立一高が2大会連続30回目の出場を果たしたことから、5月24日(月)～6月4日(金)の約2週間に亘り、OB会ホームページやSNS等により「緊急カンパ」を募ったところ、17人の方から計128,000円の御協力をいただくことができました。

この浄財は、高校ラグビー部へのお出場激励金として10万円を充てさせていただき、残金は今後の活動支援の財源とさせていただきます。(128,000円中、6月4日現在の納入額が84,000円、大会期日後の納入額が44,000円のため)御協力ありがとうございました。

5. 役員追加選任(案) 任期: 令和3年度まで

役職	氏名	卒年度	役職	氏名	卒年度	
会長	黒沢 祐士	昭和50年度	幹事	尾又 彰彦	平成2年度	
副会長	山本 宏	昭和51年度	幹事	助川 覚	平成5年度	
副会長	益子 俊志	昭和53年度	幹事	原 正紀	平成6年度	
副会長	柴田 和則	昭和57年度	幹事	鈴木 祐輔	平成7年度	
幹事長	木下俊雄	昭和54年度	幹事	加藤 順大	平成8年度	
幹事	鶴巻 仁	昭和57年度	幹事	樋本 吉和	平成8年度	
幹事	黒澤 次郎	昭和58年度	幹事	吉田 昭洋	平成20年度	(新)
幹事	笠井 知洋	昭和59年度	幹事	小川 浩慶	平成28年度	(新)
幹事	平澤 慎二	昭和59年度	監事	橘 恒弘	昭和62年度	
幹事	高橋 晃太郎	昭和61年度	監事	長谷川 将大	平成20年度	
幹事	本田 浩一	平成2年度	事務局長	金澤 勉	平成4年度	

○ 栃木県佐野高校ラグビー部の創部70周年記念試合はコロナ禍で中止

平成28年7月17日(日)、日立一高ラグビー部が創部70周年記念事業を行った際、長年のライバルである北関東の雄「栃木県立佐野高等学校ラグビー部」のOB・高校・中学チームを招いて記念招待試合を行いました。

振り返れば、昭和50年代までは1県1校出場ではなかったため、茨城県で優勝してもそのまま花園には行けず、栃木県代表との「東関東大会」に勝利する必要がありました。

昭和53・54年度には日立一高が勝ち、昭和56・58年度には佐野高校が勝ち、昭和59年度には全国大会2回戦で佐野高校が勝っていることから、公式戦では2勝3敗と負け越している、思い出深く・手ごわい相手でした。

5年前の招待試合終了後のレセプションにおいて、佐野高校も5年後に創部70周年を迎えることから、ぜひ日立一高を招待したいという申し出があり、快諾するとともにOB一同その日を指折り数えて待っていたところです。

しかし、昨年来のコロナ禍の中で、全国各地からOBを集めての記念事業は自粛すべきということになり、去る5月、正式に記念招待試合中止の連絡がありました。

中止にはなったものの、佐野高校では着々と準備が進められており、このほど当OB会に記念誌5冊と特注の記念ボール10個を送っていただきました。

黒沢OB会長とも相談の上、お礼状を送るとともに、今後のアフターコロナにおいて、改めて招待試合が企画されるときはぜひ参加させていただきたいことと、今後も末永く交流を続けたいとの思いをお伝えしておきました。



【平成28年の記念招待試合（レジェンドの部）】



【佐野高校記念誌】



【佐野高校×日立一高 記念ボール】



【佐野高校OB×日立一高OB 記念招待試合前の集合写真】

○ OB通信

このコーナーでは、OBの方々に昔の思い出話や近況等のご紹介をいただいています。今回は、樋本吉和さん・木田翔汰さんのお二人にお願いしました。お二人とも、お忙しい中を寄稿していただきありがとうございました。

「感謝」 樋本 吉和 平成8年度・第49回卒

私は4年程前より大学卒業以来勤めていた会社を退職し地元の北茨城市に戻り、現在自営業の会社に勤めております。

私がラグビーに最初に出会ったのは幼少期、当時父がポパイクラブ【日立の社会人クラブ】に所属していたこともあり、その練習や試合に兄と一緒に観に行った記憶があります。

小学校から中学校1年生頃まではラグビーはやっていませんでしたが、当時テレビで放送していた『スクールウォーズ【再放送】』や『スクールウォーズ2』は毎週回ビデオ録画して熱心に観ていました。

ただ、兄が日立一高のラグビー部に入部し、中学2年頃からはちょくちょく日立一高の練習や試合を観に行くことが多くなり、ラグビーがより身近に感じられるようになりました。そして必然的に吸い込まれるように日立一高ラグビー部に入部。私が高校に入学した時は兄が3年生でラグビー部顧問には滑川先生の後任として吉沢先生が新任された時期でもありました。

両親は我々兄弟の為、沢山の試合に足を運んでくれました。父は試合だけでなく練習にも足を運んでくれました。そして練習試合や公式戦の様子を毎試合ビデオで記録してくれました。【実際撮影していたのは当社の従業員の方ですが…】今となればそれは大切な記録・記憶として残っており、両親には今でも感謝しております。

また、私が3年生の時、卒業して大学に進学した兄も菅平の合宿に参加してくれて、怪我で人数が足りない現役の部員の穴を埋める為、沢山の練習試合に出場してくれました。兄とは現在自営業の会社で一緒に働いており、今でも兄には感謝しております。

勿論のことですが、私が高校生の頃は多数のOBが平日・休日問わず、練習や試合、合宿に来てご指導して下さいました事には今でも感謝しております。家族やOBに支えられてラグビーに没頭することが出来た3年間だったと実感しております。



今現在現役の部員はコロナ禍の非常に制限が多い大変な中で練習や試合にと、部活動に一生懸命に励んでいると思います。特に練習時間や練習試合はコロナ以前より大分少なくなっておりますが、短い時間の練習・少ない練習試合だからこそ一つ一つ集中してやってほしいと思っております。特に高校生は3年生全員が最後まで残って部活動を続け『花園出場』を目指して日々頑張してほしいと思います。

「出会いに感謝！」 木田 翔汰 平成21年度・第62回卒

こんにちは、日立製作所SunNexus所属の木田です。

自分は日立一高を卒業してすぐ就職という道を選び、今は働きながら、日立製作所 SunNexus というチームでラグビーを現役で続けております。

今回このような執筆の機会を頂きましたので、一高ラグビー部関係者への感謝の気持ちをお伝えできればと思います。

思い返せば自分がラグビーを始めることになったきっかけは、全くの偶然でした。小学校時代からよく知る先輩方が在籍していて、声をかけてもらったのが始まりでした。

ラグビーを始める前から比較的体格には恵まれていた方で、入部当初こそ一番自分に合っているスポーツとまで考えましたが、考えながら体を動かすということが苦手な自分は、高校時代は鳴かず飛ばずの選手だったと思います。

それでも当時の監督、チームメンバーは最高の布陣で、何とか実力差を埋められるように必死に食らいついて、2年生最後の花園予選の若狭学園戦、80-5の防戦一方の試合の中、モールからトライを決められたことは、自分の高校時代の一番の思い出になっています。

ただ、やはり自分には向いていないと思っていたので、ここできっぱり引退するつもりでした。

高校ラグビー引退後、将来の展望が特に無かった自分は、家庭環境等も考えて「就職」という進路を漠然と考えていました。そんな時声を掛けていただいたのが日立一高OB会でした。

日立を受けてみないかというご好意に、二つ返事で飛びつき、何とか採用まで漕ぎ着けることができました。

もし自分がラグビーと出会わなければ、辛くて途中で辞めてしまっていたら、生徒の進路まで考えてくれるOBがいなければ、今の私はいないでしょう。一高ラグビー部関係者の皆様、本当にありがとうございます。

最後に、現役の皆さん、新型コロナウイルスの拡大によって活動が制限され、個人のモチベーション維持も大変な状況だと思いますが、今の頑張りは必ず将来に繋がるはずです。

今の環境の中で、できる事を一生懸命取り組みましょう。僕も頑張ります。



○ 父母の会だより 父母の会会長 二重 作 志 穂 さん (二重作英慈くん (3年) の母)

日頃より、先生方、OB会の皆様には大変お世話になっております。

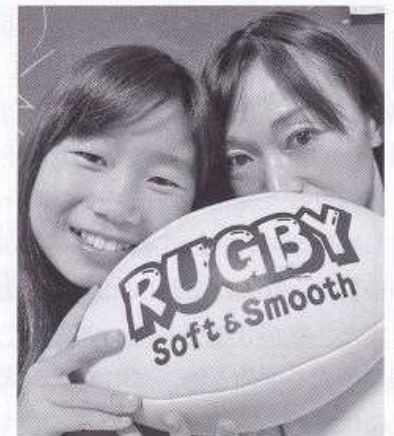
今年度も、日立一高ラグビー部は懸念していたコロナウイルス感染拡大の影響を受け、練習さえもままならないスタートとなりました。

それでも、昨年は中止されてしまった関東大会が行われ、27年ぶりに1勝することができました。

チームも一層練習に打ち込む日々を送っておりましたが、ここにきて再び緊急事態宣言。夏合宿は目前に中止。そして部活動の停止。更なるイベントや大会の中止に怯え、部員もさることながら、保護者であるわたし達も士気阻喪といった状況にあります。

そんな中、3年生におきましては、誰一人欠けることなく花園出場を目標に部活に残る、という決断に到りました。

ミーティングでは、胸を張って部活を続けていられる、一人一人が受験勉強と両立させる、という話をしたそうです。(本当でしょうか…)



愛犬と楽しむキャンプ場

Out Tail Dog Camp

松崎 暢之 (昭和63年度 第41回卒)

〒294-0004 千葉県館山市水岡263番地

<https://dogcamp.jp>

株式会社岡部工務店

代表取締役 岡部 英明

(昭和51年度 第29回卒)

〒316-0003 日立市多賀町2丁目10番7号

電話: 0294-36-1681

株式会社オンサイド

代表 中小企業診断士 松崎 暢之

(昭和63年度 第41回卒)

〒153-0044 東京都目黒区大橋1丁目5番1-2001号

電話: 03-6277-5309

株式会社 カントウスプレー

代表取締役 本田 浩一

(平成2年度 第43回卒)

〒317-0054 日立市本宮町3丁目32番12号

電話: 0294-22-0807

株式会社 トップベイサービス

代表取締役 後藤 秀次郎

(昭和41年度 第19回卒)

〒272-0144 千葉県市川市新井3丁目15番28号

電話: 047-396-7176

肉の登利要 日立店

店主 古口 利博

(昭和39年度 第17回卒)

〒317-0073 日立市幸町2丁目8番14号

電話: 0294-21-0971

村山商店

代表 村山 功

(昭和42年度 第20回卒)

〒319-1702 北茨城市大津町2731番地1

電話: 0293-46-0172

石井米店

店主 石井 博美

(昭和41年度 第19回卒)

〒318-0021 高萩市安良川270番地

電話: 0293-22-3157

尾又運送株式会社

代表取締役社長 尾又 彰彦 (平成2年度卒)

代表取締役会長 尾又 篤 (昭和36年度卒)

〒316-0035 日立市国分町3丁目11番7号

電話: 0294-36-2856

有限会社 川西砕石

代表取締役 杉浦 巖夫

(平成7年度 第48回卒)

〒316-0001 日立市諏訪町1275番地の2

電話: 0294-33-0359

鈴菊商店

代表 鈴木 真治

(平成2年度 第43回卒)

〒319-1701 北茨城市平潟町293番地

電話: 0293-46-5110

有限会社 ナニワ運動具店

橘 恒弘

(昭和62年度 第40回卒)

〒317-0071 日立市鹿島町2丁目15番4号

電話: 0294-22-0017

弁護士法人 萩原総合法律事務所

代表社員弁護士 萩原 慎二

(平成4年度 第45回卒)

〒308-0041 筑西市乙828番地の3

SATOビル2階

電話: 0296-48-8875

日立一高ラグビー部 父母の会

会長 二重作 志穂 ほか保護者一同

日立一高ラグビー部OB会 役員会

会長 黒沢 祐士 ほか役員一同

私たちは、日立一高ラグビー部を応援しています！

(事業所名はアイウエオ順)